

平成22年第2回定例議会

島田市長 2期目再選後 初定例議会

平成22年の第2回目となる定例議会を6月3日から18日までの会期で開きました。

4月に2期目再選を果たした島田市長にとって今回が再選後の初定例議会となり、開会日には改めて施政方針が述べられました。また、副市長、教育委員、監査委員など新体制を整備するための人事案件を含む全29件の議案等について審議しました。



再選後、改めて市政方針演説を行う島田市長

(6月3日、本会議)

島田市政再出発へ新体制を整備

去る4月4日に告示された市長選挙において無投票再選を果たした島田市長からは、市政2期目・4年間のスタートにあたり新体制を整備するため、前任期に引き続いて、鶴町和夫氏を副市長とすることに議会の選任同意を求める議案55号ほか人事案件が提出されました。

なお、今定例議会において、教育委員の選任同意を得た沼田和美氏(前小美玉市市長公室長)が、教育委員会の定例会において、教育長に任命されています。

(議案50〜55、諮問1)



■国へ要望(意見書提出)■ 土地改良事業予算の安定確保を

国の平成22年度予算における農業農村整備事業費は、前年度より約37%削減されており、事業停滞により農業の生産性低下を招くことは明らかである。今後とも本市農業・農村が持続的に発展し、安心安全な食料の安定供給を担っていくためには、事業の継続かつ計画的な実施が不可欠であることから、国会・政府においては、この基礎となる土地改良事業予算の安定確保に努めるよう強く求める。

(議員発議1)

■意見(賛成討論)■(福島議員) 子どもの医療費無料化拡充を

子どもの医療費無料化について、今回の県の要綱改正に伴う9歳児までの対象拡大を、さらに市独自で所得制限なしとしたことは多いに評価できるが、県内ではさらに対象年齢を広げるなど独自の拡充策を実施する市町村もある。

本市もこれらに遅れをとらず、さらに子育て支援を拡充するため、妊産婦や小学6年生までの医療費無料化が実施できるよう今後の更なる推進に期待したい。

(議案40)